

# POSITIVEプログラムの展開と (労働組合主導の参加型安全衛生プログラム) 日本 (JILAF & 専門家) の役割について

1. POSITIVEプログラムとは何か
2. POSITIVEプログラムの展開
3. 日本の役割と今後に向けた課題

2008年7月4日: 労働安全衛生セミナー

国際労働財団(JILAF) 現地支援グループ 鈴木 宏二

## 国際労働財団とは Japan International Labour Foundation (略 JILAF)

(財)国際労働財団は、労働分野における国際的な交流と協力を推進するための機関として、1989年5月、わが国の労働組合全国組織「連合」によって設立されました。

労働分野の国際交流により、諸外国との相互理解を促進するとともに各国労働団体を通じた支援・協力により開発途上国の社会経済開発に寄与することをめざします。

## 事業内容

**人物招聘:** 海外の労働組合リーダーを日本に招き、研修の機会を提供します。1989年の設立以来2007年度末までの招聘者数は122ヵ国・3地域、2,131人です。

**現地支援事業:** 海外の労働組合が、自国において行う教育活動や社会開発活動を支援します。94年度からの14年間に実施した現地セミナーは15ヵ国・1地域を対象に2,664回、参加者は81,270人になりました。

**人材育成:** 国内外の若い労働組合リーダーの教育を援助します。

**セミナー・シンポジウム:** 関係組織と協力し、国内や海外で労働関係のセミナーやシンポジウムを開催します。

**調査・研究・広報:** 国内外の労働事情の調査・研究や出版活動を行っています。

国際労働財団(JILAF) <http://www.jilaf.or.jp/index.html>

- 理事長
  - 高木剛(連合会長)
- 副理事長
  - 野見山 眞之(元中央労働災害防止協会理事長)
- 専務理事
  - 高橋由夫(前連合副事務局長)
- 常務理事
  - 林 元夫(前中央労働委員会事務局調整第三課長)

1 . POSITIVEプログラムとは何か

**POSITIVE**  
 ( **P**articipation-**O**riented **S**afety  
**I**mprovements by **T**rade Union **I**nitiati**VE** )

# ポジティブプログラムの目的

労働組合主導の参加型安全衛生向上プログラム

## 1. 職場の改善、労働災害の減少

経営者でなく、労組主導の労働安全衛生プログラムにより、労働者の視点から現状にあった安全衛生活動をし、労働者やその家族を労働災害から守る。

## 2. 労使関係の改善

労働安全衛生の促進は労使双方の利益、お互いが協力することで、労使間の対話の機会を増やし、関係の改善を図る。

## 3. 労働者の意識改革

労働者自身で考え、行動することにより、労働者の自信を高め意識改革を図る。

## 4. 労働組合の組織強化

共にプログラムに参加することにより、労働組合役員のネットワークを構築し、非組合員へのトレーニングを通じ、労組の役割理解、組織結成、組合加入を促進

## POSITIVEプログラムの実際

POSITIVEセミナーを開く準備



職場訪問、チェックリスト実習



POSITIVEプログラムの技術領域



(1)物の運搬と移動(2)ワークステーション  
(3)機械の安全(4)作業環境(5)福利厚生  
(6)環境保護



最終的な提案



フォローアップ活動

## POSITIVEプログラムで採用されている労働者の安全と健康に関する6つの技術領域

### (技術領域1) 物の運搬と保管



物の運搬と保管は、労働者が容易かつ安全に物を運び、不要な災害を防止する事などを扱います。

### (技術領域2) ワークステーション



良好なワークステーションは生産性を向上に直結し、労働者の筋骨格系障害を予防します。

### (技術領域3) 機械の安全



機械安全に関する適切な対策と基準の導入は、労働者を重篤な傷害から保護し、良質の作業を確保します。

### (技術領域4) 作業環境



安全で健康的な職場環境を確立するため、有害物管理等の簡便で実際的な方法を取り扱います。

### (技術領域5) 福利厚生



トイレと洗面所等の衛生設備、食堂・休憩室などは、全ての労働者の基本的必要条件です。

### (技術領域6) 環境保護



労働者は、廃棄物の分別容器や、環境保護の基本的方法を学ぶことで、職場からの環境保護に貢献することができます。

## POSITIVEプログラムのトレーニングキット

### アクションマニュアル



アクションチェックリストと改善マニュアル

### トレーナーマニュアル



セミナー実施のハウツー・マニュアル

### トレーナーガイド

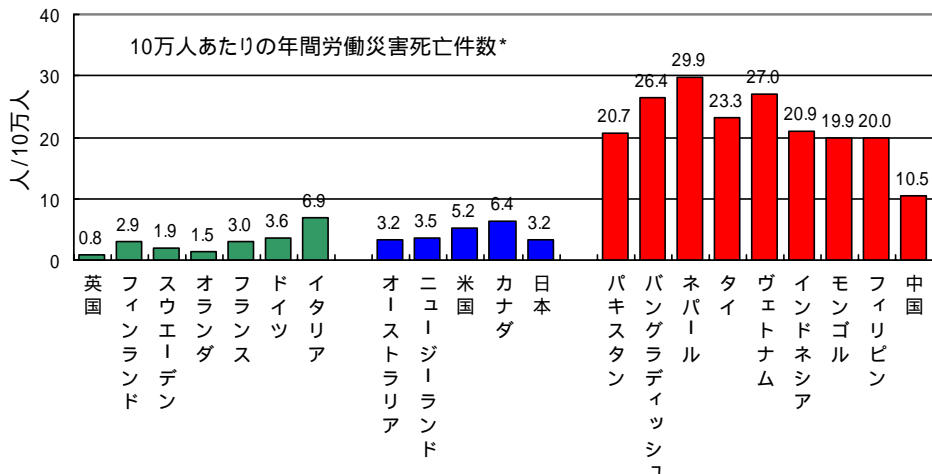


## 2 . POSITIVEプログラムの展開

**POSITIVE**  
( **P**articipation-**O**riented **S**afety  
Improvements by **T**rade Union **I**nitiative )

### POSITIVEプログラム誕生の背景

ILOによる工業国とアジア地域開発途上国における死亡労働災害発生率の比較



(Hamalainenら (2006) より、吉川が図を作成)

# 現場改善の実績に学ぶ年代別 参加型安全保健プログラムの進展

1988

1994

2000

2006

## 小企業WISE (Work Improvement in Small Enterprises)方式

- Philippines, Thailand, Vietnam, Laos, ...

## 農業WIND (Work Improvement in Neighborhood Development)方式

- Vietnam, Thailand, Philippines, ...

## 労組POSITIVE (Participation-Oriented Safety Improvement by Trade Union Initiative)

- Pakistan, Bangladesh, Mongolia, Nepal, China

労働安全衛生マネジメントシステムにおける参加型アプローチの応用

- Japan, Malaysia, Philippines, Thailand, Vietnam...

大規模プラントにおける安全リスクマネジメント, 教育研修

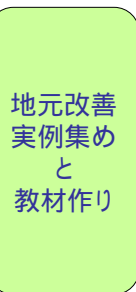
- Japan, China, Russia, Vietnam...

医療従事者の安全保健課題への取り組み

- Japan, Malaysia, Thailand, Vietnam...

## 共通した段階式アプローチをとります

第1年度



ラオス

第2, 3年度



ベトナム  
インドネシア



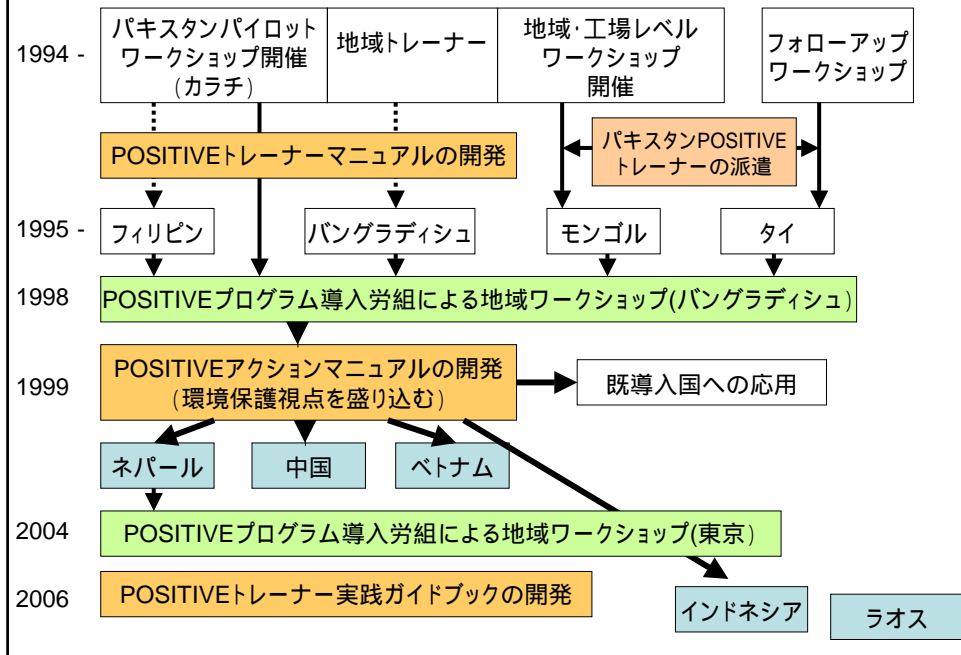
第4年度以降



パキスタン(2006まで)  
バングラディシュ(2006まで)  
モンゴル、中国(2005まで)  
ネパール、フィリピン

フォロー  
アップ  
活動と  
地区別  
の展開

## 10カ国での実施にいたるPOSITIVEプログラム普及のステップ



## 各組織別参加者数・トレーナー数(2007年3月現在)

| 組織名                 | 組合員数             | 実施期間            | 参加者数            | トレーナー数 |
|---------------------|------------------|-----------------|-----------------|--------|
| フィリピン<br>TUCP       | 48万人             | 94年度～<br>13年間   | 1,615           | 101    |
| バングラディシュ<br>ITUC-BC | 58万人             | 96年度～<br>11年間   | 5,437           | 327    |
| モンゴル<br>CMTU        | 45万人             | 98年度～<br>9年間    | 1,186           | 36     |
| パキスタン<br>PWF        | 88万人             | 94～04年度<br>11年間 | 10,279          | 569    |
| ネパール<br>NTUC-I      | 14万人             | 00年度～<br>7年間    | 3,044           | 259    |
| タイ<br>LCT           | 2.5万人            | 99～02年度<br>4年間  | 1,323           | —      |
| 中国<br>ACFTU         | 1億200万人          | 02～06年度<br>5年間  | 201<br>(44,074) | 163    |
| ベトナム<br>VGCL        | 520万人            | 04年度～<br>3年間    | 244             | 46     |
| インドネシア<br>CITU      | 51万人             | 05年度～<br>2年間    | 78              | 13     |
| 合計                  | JILAF支援<br>により育成 |                 | 23,407          | 1,266  |

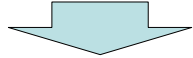
労働現場の改善実績に示されるポジティブな面に焦点を当てます

実践して学ぶ職場改善ステップをとります

1. 地元改善事例から学ぶ  
- 多領域に注目



2. 実施可能な改善策を知る  
- 低コスト改善に力点



3. すぐの改善実施を計画する



4. 改善成果を確認する



# 各国で行われている POSITIVE 研修手法の基本構造は同じだが、現地にあわせて運営される

Yang Zhou, China, September 2003



チェックリスト実習



グループ討議



プレゼンは30分以内で



良い点3つ、改善点3つ

## 作業改善アクションチェックリスト

JAL POSITIVE Program

### Action Checklist (18-items, 2006 POSITIVE Program)

**How to use the checklist:**

- Circle the work area to be checked. In the case of a special assignment, the whole production area can be checked. In the case of a large assignment, particular work areas can be selected for separate checking.
- Read through the checklist and spend a few minutes walking around the work area before starting to check. Read each step carefully. Look for a way to apply the measures. If necessary, take some questions to the manager or worker. If the answer for items marked 'NO' is not needed, mark 'NO' again. Do you propose action? If you think the answer is worthwhile, mark 'YES'. Use the space under 'REMARKS' to put a description of your suggestions or do nothing.
- After you have gone through the whole area, look again at the items you have marked 'YES'. Choose a few items where the results seem likely to be the most important. Mark 'PRIORITY' for these items.
- When checking, make sure that the next time you have marked 'NO' or 'YES', and that for some items marked 'YES' you have marked 'PRIORITY'.

**A. Materials Handling**

1. Check and mark changed items.

Do you propose a fix?  Yes  No  Priority

Remarks: \_\_\_\_\_

2. Provide work-level checks or change checks near the work area for tools, air substance, path and product.

Do you propose a fix?  Yes  No  Priority

Remarks: \_\_\_\_\_

3. Provide a comprehensive good house for each tool.

Do you propose a fix?  Yes  No  Priority

Remarks: \_\_\_\_\_

JAL POSITIVE Program

### ポジティブトレーニング 作業改善アクションチェックリスト (18アイテムと改善案10項目)

**このチェックリストの使い方**

- チェックする作業の範囲を丸で囲む。特別な任務の場合、全体の生産エリアをすべてチェックすることもできる。大きな任務の場合、特定の作業エリアを選択して個別にチェックすることもできる。
- チェックリストを読み、作業開始前に作業現場を数分間歩き回って確認する。必要に応じて、マネージャーや作業員に質問を投げかける。回答が必要と判断された項目については、回答欄に「YES」を記入し、改善案の記述欄に改善案の具体的な説明を記入する。改善案が実行される価値があると思われる場合は、「YES」を記入し、改善案の記述欄に改善案の具体的な説明を記入する。改善案が実行される価値がない場合は、「NO」を記入する。改善案が実行される価値があると思われる場合は、「YES」を記入し、改善案の記述欄に改善案の具体的な説明を記入する。
- 作業現場をすべてチェックした後、特に重要な結果が期待できる項目をいくつか再確認する。これらの項目を「YES」または「PRIORITY」でマークする。
- チェックするときに、次のチェックで「NO」または「YES」をマークし、一部の項目については「YES」をマークし、改善案の記述欄に改善案の具体的な説明を記入する。

**A. 保管と移動**

1. 確認し、変更された項目を丸で囲む。

この改善案を提案しますか?  はい  いいえ  優先

メモ: \_\_\_\_\_

2. 作業現場で作業レベルのチェックや変更のチェックを、作業現場で道具、空気物質、経路、および製品に近接して行う。

この改善案を提案しますか?  はい  いいえ  優先

メモ: \_\_\_\_\_

3. 各道具に対して包括的な良好な状態を確保する。

この改善案を提案しますか?  はい  いいえ  優先

メモ: \_\_\_\_\_

# 日本の役割と課題

- 1. 自律的發展に向けた仕組みづくり  
トレーナー育成の現地への移管  
ILOとの協力、産別モジュールの開発
- 2. トレーナー間のネットワークづくり  
多国間スキルアップセミナーの開催  
HPの全面改訂
- 3. 政労使または労使の協力

## POSITIVEプログラムの推進

### ポジティブの4つのステップ

#### 1. 導入

職場の労働安全衛生へ意識啓発  
POSITIVE活動に関する理解  
プロジェクト実施に関する体制の整備

#### 2. 育成

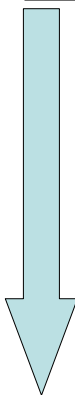
現地コア・トレーナーの育成  
現地語版教材の整備  
プロジェクトの立案・計画の確立

#### 3. 普及

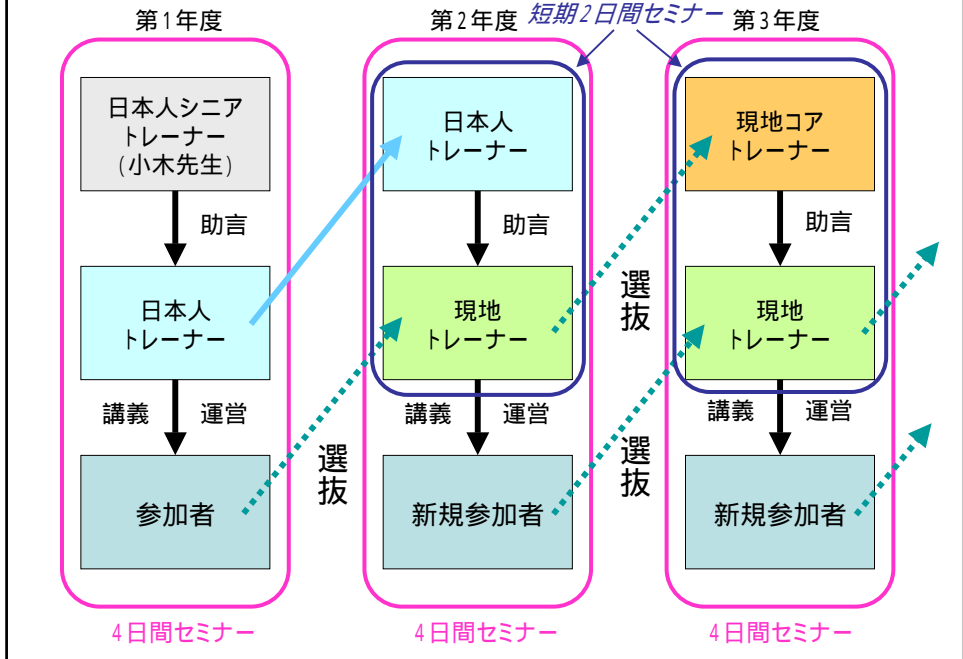
現地コアトレーナーによる職場トレーナーの育成  
トレーナーによる職場における改善活動の推進  
現地トレーナーによる現場レベルへの普及活動  
現地トレーナーのスキルアップと経験交流の促進

#### 4. 自立

自立的活動の推進  
活動の継続・改善に資する支援  
プロジェクト総括と新プロジェクトの提案



# 最近の現地トレーナー三段階式養成方法(ベトナム、インドネシア)



| 西暦         | 2005年度                                 | 2006年度             |          |                   |          |                   |          |                   |          |                 |            |                 |            | 2007年度          |            |                 |            |                 |            |                 |            |  |  |  |  | 2008年度 |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|------------|--|--------------------|----------|-------------------|----------|-------------------|----------|-------------------|----------|-----------------|------------|-----------------|------------|-----------------|------------|-----------------|------------|-----------------|------------|-----------------|------------|--|--|--|--|--------|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-----|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 月          | 1 2 3                                  | 4 5 6 7 8 9        | 10 11 12 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 | 10 11 12 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 | 10 11 12 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 | 10 11 12 | 1 2 3 4 5 6 7 8 | 9 10 11 12 | 1 2 3 4 5 6 7 8 | 9 10 11 12 | 1 2 3 4 5 6 7 8 | 9 10 11 12 | 1 2 3 4 5 6 7 8 | 9 10 11 12 | 1 2 3 4 5 6 7 8 | 9 10 11 12 | 1 2 3 4 5 6 7 8 | 9 10 11 12 |  |  |  |  |        |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 目的         | 導入                                     | 1年目                |          |                   |          |                   |          |                   |          |                 |            |                 |            | 2年目             |            |                 |            |                 |            |                 |            |  |  |  |  | 3年目    |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| トレーナーの育成   | トレーナー育成セミナー(TOT)<br>(日本人専門家)           | 1-3                |          |                   |          |                   |          |                   |          |                 |            |                 |            |                 |            |                 |            |                 |            |                 |            |  |  |  |  |        | 1-3 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     | 3-2 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|            | トレーナー育成セミナー(TOT)<br>(インドネシア人コアトレーナー)   |                    |          |                   |          |                   |          |                   |          |                 |            |                 |            |                 |            |                 |            |                 |            |                 |            |  |  |  |  |        | 1-2 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     | 2   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| コアトレーナーの育成 | コアトレーナー育成セミナー(CTT)<br>(日本人専門家)         |                    |          |                   |          |                   |          |                   |          |                 |            |                 |            |                 |            |                 |            |                 |            |                 |            |  |  |  |  |        |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1-1 |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 3-1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|            | コアトレーナー育成セミナー(CTT)<br>(インドネシア人コアトレーナー) |                    |          |                   |          |                   |          |                   |          |                 |            |                 |            |                 |            |                 |            |                 |            |                 |            |  |  |  |  |        |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 労働者教育・改善活動 | 労働者教育・職場改善活動                           | [Solid orange bar] |          |                   |          |                   |          |                   |          |                 |            |                 |            |                 |            |                 |            |                 |            |                 |            |  |  |  |  |        |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

## POSITIVEスキルアップセミナー

- 日程 2008年1月23日～26日  
1月23日, 成果報告会(6カ国)  
24～26日, スキルアップセミナー
- 参加者  
パキスタン, バングラディッシュ, フィリピン, モンゴル, ヴェトナムから各2名  
日本機械工業労働組合から3名  
日本人トレーナー7名(城, 毛利, 原, 長須, 仲尾, 外山, 吉川)  
JILAFスタッフ, 現地支援事業部, 招聘事業部, 役員



